

# 民活事業報告書（平成21年度）

事業名：がん・感染症医療センター（仮称）整備運営事業

病院経営本部経営企画部

## 第1 事業概要

本事業は、「都立病院改革マスタープラン」及び「都立病院改革実行プログラム」に基づき、駒込病院を「がん・感染症医療センター（仮称）」（以下「がん・感染症医療センター」という。）として再編整備し、運営するものである。

事業方式は、事業者が老朽化した既存施設を増築・改修し、病院機能を向上させるとともに、維持管理及び運営を行う、RO（Rehabilitate-Operate）方式により実施する。

### 1 事業場所

東京都文京区本駒込三丁目18番22号

### 2 事業者

株式会社駒込SPC

### 3 事業内容

- (1) 統括マネジメント業務
- (2) 施設整備業務
  - ア 病院施設等施設整備業務
    - (ア) 事前調査業務
    - (イ) 設計業務及びその関連業務
    - (ウ) 工事業務
    - (エ) 工事監理業務
    - (オ) 周辺影響調査・対策業務
    - (カ) 各種申請等業務
    - (キ) 補助金・許認可等申請補助業務
    - (ク) 移転業務
- (3) 維持管理・運営・調達業務
  - ア 病院施設等維持管理業務
    - (ア) 病院施設等保守管理業務
    - (イ) 清掃業務
    - (ウ) 保安警備業務

(エ) 医療機器管理・保守点検業務

(オ) 備品等管理・保守点検業務

イ 病院運營業務

(ア) 医事業務

(イ) 検体検査業務

(ウ) 物品管理業務

(エ) 食事の提供業務

(オ) 滅菌消毒業務

(カ) リネンサプライ業務

(キ) 医療作業業務

(ク) 一般管理支援業務

(ケ) 利便施設運營業務

ウ 調達業務

(ア) 医療機器調達業務

(イ) 備品等調達業務

(ウ) 医薬品・診療材料等調達業務

#### 4 事業期間

平成19年12月21日から平成38年3月31日まで

## 第2 平成21年度事業実施状況

施設整備業務は、平成23年9月の全面供用開始に向けて順次施工しているところであるが、平成21年度は、平成22年1月に3号館（旧臨床医学総合研究所）と病院本館一部等の改修工事を完了し、これに伴う一部病棟・診療部門の移転を実施した。

本改修工事は、診療業務を継続しながら実施する工事であるため、施設整備業務と運営業務が十分に連携して、患者等の安全を確保し、診療機能への影響を最小限に抑える必要がある。こうした点を踏まえ、事業者は統括マネジメント機能を発揮し、病棟移転や、これに伴う維持管理・運営・調達業務の運用内容の変更等について、協力企業との協議を適切に行いながら業務を遂行した。

また、維持管理・運営・調達業務を平成21年4月から開始した。

本事業では、診療業務や病院経営については都が担い、維持業務や建物管理などの医療周辺業務については事業者が包括的に担うため、業務開始当初から、都と事業者とが円滑な業務運営に向けた調整を継続的に行い、改善が必要な点には都度適切に対処することによって、全ての業務を軌道にのせ、安定した業務運営を実現することができた。

### 第3 モニタリング等について

本事業におけるモニタリングは、事業者がセルフモニタリングとして、協力企業により提供されるサービスの内容と仕様との合致の確認など業務プロセスの管理を行った上で、それを都に報告し、都がその報告を基に、事業者が定められた役割を確実に果たし、業務要求水準書に規定された業務要求水準を満足しているかを確認することを、その基本的な構造とする。

都は、事業者との日々の情報・意見交換や不具合発見時の連絡、実査等を通じて上記のセルフモニタリングのプロセスに関与するとともに、事業者から業務の実施状況について月次報告を受け、報告内容を予め各部署において確認した上で、事業評価委員会で判断する。

都は、毎月初旬に、前月における各業務の内容を総合的に判断し、それをモニタリング結果として事業者に通知することとしている。

モニタリングの種類	主な方法
(1) 日常モニタリング	ア 日に1度、事業者の職員が病院施設等を巡回し、各個別業務の実施状況を確認・評価の上、日報を都に提出する。 イ 時間の経過を追い、連続的又は断続的に確認・評価が必要な確認項目については事業者が確認し、その結果をとりまとめ都に提出する。 ウ ヘルプデスクに寄せられた要望や苦情等の内容やそれらに対する事業者の対応を都に報告する。など
(2) 定期モニタリング	ア 事業者は、日報及びその他報告事項を取りまとめた月次報告書を都に提出する。 イ 月に1度、都及び事業者の職員がともに病院施設等を巡回し、各個別業務の実施状況を確認・評価する。 ウ 事業者は定期的に会計監査人の監査済財務書類等を都に提出し、都に対して監査報告を行う。など
(3) 随時モニタリング	ア 必要に応じ、都の職員が病院施設等を巡回し、各個別業務の実施状況を確認・評価する。 イ 第三者評価調査（財団法人 日本医療機能評価機構等）を必要に応じ受審する。 ウ 都が実施する患者及び病院職員に対する満足度調査（アンケート調査等）の結果及び患者からの要望・苦情等を分析し、評価する。など

また、事業者の財務状況等については、事業契約に基づき、事業期間の終了に至るまで、各事業年度終了後、事業者が会計監査人の監査済財務書類等を都に提出し、都に対して監査報告を行うこととしている。

#### 第4 事業者の財務状況

### 貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 6,783,319】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 6,238,527】</b>
現金及び預金	586,043	事業未払金	6,211,377
事業未収金	5,516,868	未払金	7,925
棚卸資産	634,337	未払法人税等	18,725
前払費用	23,263	預り金	499
未収消費税等	20,555		
繰延税金資産	2,250		
<b>【固定資産】</b>	<b>【 24,503】</b>		
(有形固定資産)	( 3,098)		
建物附属設備	3,387		
工具器具備品	2,374		
減価償却累計額	△2,663		
(無形固定資産)	( 8,688)	負債合計	6,238,527
ソフトウェア	8,688	純資産の部	
(投資その他の資産)	( 12,716)	<b>【株主資本】</b>	<b>【 571,457】</b>
長期前払費用	5,103	<b>【資本金】</b>	<b>【 500,000】</b>
敷金	7,051	<b>【利益剰余金】</b>	<b>【 71,457】</b>
繰延税金資産	561	(その他利益剰余金)	( 71,457)
<b>【繰延資産】</b>	<b>【 2,162】</b>	繰越利益剰余金	71,457
創立費	1,587		
開業費	575	純資産合計	571,457
資産合計	6,809,985	負債及び純資産合計	6,809,985

(注) 記載金額は、千円未満を切捨てて表示している。

## 損 益 計 算 書

自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日

(単位：千円)

科 目		金 額	
【売上高】			
売上高		9,497,064	9,497,064
【売上原価】			
売上原価		9,257,017	9,257,017
	売上総利益		240,047
【販売費及び一般管理費】			183,629
	営業利益		56,417
【営業外収益】			
受取利息		343	343
【営業外費用】			
創立費償却		793	
開業費償却		287	1,081
	経常利益		55,680
	税引前当期純利益		55,680
	法人税等		25,092
	法人税等調整額		△1,857
	当期純利益		32,445

(注) 記載金額は、千円未満を切捨てて表示している。

## 第5 総合評価

### 1 事業の履行状況に対する評価

平成21年4月から事業者による維持管理・運営業務が開始されたところであるが、開始当初は、業務を担当する企業が、従前より変更となった清掃業務や、新たに業務が開始された物品管理業務などにおいて、業務の不慣れなどにより一部混乱が見られたものの、事業者による柔軟な対応により混乱は概ね解消し、現在は、安定的に業務が提供されている。

事業の履行状況については、病院における事業評価委員会において、事業者によるセルフモニタリングの報告、院内各部署からの報告及び院内巡回等から総合的に判断した結果、概ね業務要求水準が達成していることを確認し、業務改善勧告に該当する事項はないと評価していることから、業務要求水準を達成する業務が履行されていることを認める。

今後は、事業者による業務改善活動であるQC活動（テーマ別改善運動）を本格的に実施するほか、診療材料の効率的な調達等について病院に対して積極的に提案するなど、更なる業務の質の向上に向けた取組みを進めていくことを求めている。

### 2 事業者の財務状況に対する評価

事業契約書第106条に基づいて、事業者から提出された財務諸表等は、会計監査人により、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査がなされ、その結果として適正に表示されているものとして認められたものであることを確認した。

また、損益計算書において、当期純利益 32,445 千円が計上され、貸借対照表においては、株主資本 571,457 千円に比して流動資産である現金・預金 586,043 千円が計上されており、事業者が継続的なサービスの提供が可能な財務状況であることを確認した。

以上のことから、平成22年3月31日の時点においては、事業者の経営状況は健全なものと認める。

## 【参考】事業者QC活動（テーマ別改善運動発表会）について

がん・感染症医療センター（仮称）整備運営事業における維持管理・運營業務の質の向上に向けた取組みとして、事業者自らがQC手法を活用して継続的な改善を目指すとともに、事業者側職員の意欲向上や職場の活性化にもつなげることを目的として実施

日 時：平成21年10月29日（木曜日）14:30～17:30

会 場：駒込病院内会議室

業務名	協力企業名	テーマ概要
物品管理業務	株式会社日本ホスピタルサービス	検体提出・回収がよりスムーズに行なわれるための工夫
滅菌消毒業務	サクラ精機株式会社	呼吸器回路の洗浄方法の改善
食事の提供業務	エームサービス株式会社	食器洗浄方法の改善
医療作業業務	株式会社エヌジェーシー	リネン交換の業務効率向上
検体検査業務	株式会社エスアールエル	分かりやすく使いやすい採尿室の表示
医事業務	株式会社ニチイ学館	会計窓口の待ち時間の短縮
リネンサプライ業務	ワタキューセイモア株式会社	リネン類定数の見直し
医療機器管理・保守点検 備品等管理・保守点検業務	株式会社アプリシア 日本管財株式会社	分かりやすい中央管理医療機器と備品の区分け